

第2章 土壌を つくる

地域に住む産婆さん(助産師)が
出産を支え、
家族や地域の人が
子育てを支えていた
かつての遠野の「お産文化」。
その文化は、形を変えて現代にも
受け継がれています



*1 妊婦遠隔診療(モバイル健診) 助産師が「モバイル胎児心拍転送装置」を使い、妊婦の自宅または健診会場から胎児の心拍等の健診データを主治医に送信。その後、小型カメラの映像により、主治医の問診を受けることができる。【写真=パソコンを通じて県立釜石病院の小笠原医師と会話する菊池助産師と松田さん】

1 助産師の役割 医師に代わって、 妊産婦の心と体を サポート

妊婦の負担を解消

「11月までの健診が今日で良かったね」
十一月としては記録的な積雪となった二十一日の午前。助産師の菊池幸枝さん(39)は、妊婦健診で遠野健康福祉の里を訪れた松田恵子さん(36)に笑顔で語り掛けました。
昨年十月から経済産業省のモデル事業の指定を受け、県立釜石病院との間で実施している「*1妊婦遠隔診療」。同病院で出産を予定する妊娠三十週以降の妊婦のうち医師が認めた場合に、菊池助産師が健康福祉の里や妊婦の自宅で行う健診を受診

市保健課
主任兼助産師
菊池幸枝さん



◎PROFILE
きくち・ゆきえ
仙台市内の病院で助産師として7年間勤務後、2001年「はなまる助産院」開業。本年12月から市保健課助産師。

昔の遠野には産婆さんがたくさんいて、自宅での出産を介助したり、へその緒を結んだりする役割から、人が亡くなったときの準備まで、命にかかわることは何でもやっていたんです。「現代のお産は昔と違う」という人もいますが、昔の人の知恵は今でも役に立っています。かつての産婆さんのような『なんでも物知りばあさん』の存在でありたいですね。

出産は人生の中でとても大きな体験。家族や周りの人みんなと支え合って、いい思い出にしてあげることが大切です。

することができません。
健診は、世間話も交えながら、ゆったりとした雰囲気の中で進められ、尿、血圧、胎児の心拍数などを検査します。結果は、インターネット回線を通じて県立釜石病院産婦人科の小笠原敏浩医師の元へ。さらにパソコンを使った映像と音声で小笠原医師と会話ができ、送られた診察結果をもとに問診が行われます。松田さんは「助産師さんとゆっくり話をしながら健診を受けられるのがいいですね」と話します。

から数多くの相談が寄せられます。出産できる医療機関が遠野から無くなって五年。妊産婦の悩みや不安を解決したり、医師との橋渡しをしたりする助産師が果たす役割はとて大きいものになっています。
安心の出産を目指して
市は、安心・安全のお産環境の整備に向け、今年一月、「市民医療整備室」を設置。保健師、救急救命士、非常勤助産師を含む六人体制で、遠野型助産院ネットワークの構想などについて検討を重ね、医師不在を補う新たな取り組みとして公設公営の助産院を遠野健康福祉の里内に設置することを決定しました。九月には県産婦人科医会(小林高会長)の後

押しを得て、助産院開設に必要な嘱託医療機関契約を盛岡赤十字病院(沼里進院長)と締結。こうして十二月一日、多くの人たちの期待を受け、待望の助産院「ねっと・ゆりかご」が開設しました。
助産院は「モバイル健診」を主軸に業務を開始。これまで実施してきた県立釜石病院のほか、八つの医療機関との間で健診が可能になります。また、妊産婦の健康相談も随時受け付け母体管理に務めるほか、助産師とかがりつけ医師とが連携して、的確な出産・入院時期を助言します。母体の状況により救急搬送が必要な場合には、助産師が救急車に同乗。安心・安全の出産に向けた支援体制が整いました。

遠野市助産院 「ねっと・ゆりかご」

遠野健康福祉の里内 / ☎1103

◆開所日時=毎週月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)、午前9時~午後5時

◆業務内容=①妊婦健康診査 ※遠隔妊婦健康診査が利用可能な医療機関(12月1日現在)

【盛岡市】盛岡赤十字病院、小林産婦人科医院、黒川産婦人科医院、岩手医科大学病院

【花巻市】KUBOクリニック、工藤医院

【北上市】北上済生会病院

【大船渡市】県立大船渡病院

【釜石市】県立釜石病院

②陣痛開始期における妊婦の母体管理

③産婦健康診査 ④新生児健康診査

⑤保健指導など

※いずれも、事前に申し込みが必要

◆利用料金 ※相談は無料

妊婦一般健診 3,000円

遠隔妊婦健診 4,500円

乳房管理 3,000円

沐浴 3,000円

産婦健診 2,000円

新生児健診 2,000円

救急搬送に伴う付き添い 3,000円(1時間)



気軽に相談したり、談話ができる畳敷きの広い室内

interview インタビュー

モバイル健診の利用者に聞きました



松田恵子さん(36)
松崎町

3人目を12月に出産する予定です。2人目の出産後から助産師さんにお世話になっています。病院まで行かなくて済むし、女性同士ゆっくり話をしながら健診を受けられるのでとても助かります。



多田梨絵さん(30)
早嬉ちゃん(1カ月)
松崎町

初めての出産で、分からないことばかり。逆子を直す体操の仕方など、助産師さんには健診以外にもいろいろ相談に乗ってもらいました。病院では聞きにくいことも気軽に話げできました。